



開校32周年

三小だより

令和3年5月28日 発行
<6月号>
江戸川区立南葛西第三小学校
校長 宮脇 隆

努力は必ず報われる

校長 宮脇 隆

先日行われた運動会では、来校制限について御理解と御協力くださり、ありがとうございました。また、受付や誘導などPTAはじめ、パパレジャーくらぶ（パパくら）の皆様のおかげで、滞りなく運動会を行うことができ、重ねて感謝申し上げます。今年度の運動会のスローガン「最後まで あきらめず 走りぬこう！」をどの学年も達成でき、更に児童、教職員が工夫して練習、本番と実施することができました。さらに、こんな嬉しい出来事がありました。運動会の終わった後、テントの片付けを行っているときに、高学年の児童が私のところへ来て「(運動会ができて) ありがとうございました」と伝えてくれました。私は感動し、このことについて休業日開けの朝会で全校児童に紹介しました。

話は変わりますが、池江璃花子選手がある雑誌に取り上げられ、“必ず報われる努力とは何か”という記事で紹介されていました。池江選手といえば、今年4月の東京五輪の代表選考会を兼ねて行われた日本選手権で、4種目全てで優勝を果たし、2016年のリオデジャネイロ大会に続いて2度目の五輪代表を獲得した際、「努力は必ず報われると思いました」という発言が話題になりました。その「奇跡の復活劇」の舞台裏について書かれたものでした。2019年2月に白血病を発症し、どのようにして復活を果たしたか。困難を乗り越えるには、自分の置かれている状況を客観的に、かつ正確に把握すること。池江選手を後押ししたのは、自分自身の中から湧き上がった前向きな気持ち。そして、池江選手が、この短期間で復活を遂げることができたのは、目標をもつことの大切さだということ。そして、その目標を達成するために、前向きに自分を保つストレスの発散として、泣くという発散法をもっていたということだそうです。

4月の朝会で、子供たちに「努力の壺」という話をしました。人それぞれには、大きさの違う努力の壺があり、目に見えないけれども努力という水がその壺にたまり、その壺から水が溢れたときに努力が達成するという話です。運動会という大きな行事が一つ終わりましたが、これからも一人一人の児童が自分なりに目標をもって前向きに取り組んでいける子供たちに育ててほしいと願っています。そして、それぞれの目標や努力が叶い、個性輝く学校になるよう教職員一同取り組んでまいります。今後とも、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



1年越しの運動会

体育主任 正岡 剛弘



5月23日（日）低学年児童にとっては初めての、中学年・高学年児童にとっては1年ぶりの運動会を無事に実施することができました。とても天気の良い中、子供たちはかけっこ・短距離走や表現に楽しそうに取り組んでいました。音楽が流れる中で一生懸命に体を動かす子供たちの様子を見て、「やっぱり運動会はいいものだな」と私自身も改めて感じました。

保護者の皆様におかれましては、日頃の体調管理に加え、準備や片付けなどに多大な御協力をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も安心・安全な体育的行事の実施を心掛けていきますので引き続きよろしくお願いいたします。

野菜の世話を通して

2年3組担任 水原 涼



生活科の学習では、ミニトマトをはじめ、多くの野菜を育てています。子供たちの中から育てたい野菜を考えました。畑に種を植えるために雑草抜きをしたり、肥料をまいたり子供たちの中からは、「野菜を育てるのは大変なんだな。」との声が聞こえたりと、初めて一から育てる大変さを感じている児童もいました。また、野菜の観察を続ける中で、成長の様子から驚きや疑問など、たくさんの発見を得ながら一人一人育てています。今後も収穫の時を楽しみにしながら野菜の成長はもちろん、子供たちの成長と共に見守っていきたいと思います。

トライ教室 始動！！

主幹教諭 小島 良貴

5月10日の週から、外部委託による放課後補習教室「トライ教室」が始動しました。1年生は6名、2年生は12名、そして、3年生以上は18名が参加しています。各学年が曜日ごとに毎週実施しています。3名の講師の先生方が6名ずつを受け持ち、子供たち一人一人に寄り添って丁寧に指導してくださっています。

ぐんぐんテキストに書き込む子、どんどん問題を解く子、「わかった」「できた」と喜ぶ子。真剣な眼差しで、集中して学習に向き合う子供たちには目を見張るものがあります。ここで学んだことが普通の授業に生かされることを期待しています。

